



# こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口明子 ☎047-767-5030

伊原 忠 ☎047-488-7207

飯川英樹 ☎080-1239-8132

日本共産党八千代市議団メール：[kyousan@jcp-yachiyo.jp](mailto:kyousan@jcp-yachiyo.jp)

日本共産党  
八千代市議団  
ホームページ

<https://jcp-yachiyo.jp>



第600号  
2023年7月17日

発行  
日本共産党  
八千代市議会議員団  
八千代市大和田新田  
312-5

## コミュニティバスなど拡充が切実な願いに

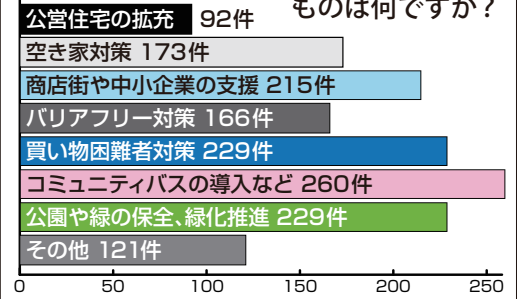
日本共産党市議団が昨年7月に行なった市民アンケートで、「住宅・まちづくりで実施してほしいものは何ですか」の回答のトップは「コミュニティバスなどの導入」でした。

市は、「公共交通沿線地域内（駅から800m圏内、バス停から300m圏内）に人口の約90%が居住しており、一定程度公共交通が発達した状況にある」との認識です。

しかし、「公共交通が必要でない」と結論づけるのは、あまりにも市民感覚とかけ離れているといわざるを得ません。

近隣の習志野市や佐倉市、印西市では「小型のコミュニティバス」が市民の足になっています。一方、八千代市は、八千代台地域以外の「ぐるっと号」の廃止、そして服部市長公約のコンパクトカー構想のとん挫と続きました。公共交通の拡充は市民の切実な願いです。

Q.住宅・まちづくりで実施してほしいものは何ですか？



●日本共産党市議団が2022年7月に実施した市民アンケートより

## 市のアンケートに寄せられた「こえ・コエ・声」

市は、今年4月から5月にかけて、無作為で抽出した15歳以上の市民2500人と公共交通の沿線から離れている北部地域の500人を対象にアンケート調査をしました。

【アンケート回答から】

○外出時、交通手段がなく困る・・・(20.8%)。

○困る外出行動・・・「買い物」と「遊び・趣味・習い事等」どちらも31.7%と最も多い。

次に「通院」が26.9%と高い数値です。

○交通手段がなく困る際の対処法・・・「徒歩又は自転車で移動する」が37.0%。

次に「不便だが路線バスやコミュニティバスを利用する」が34.6%です。

「外出をあきらめる」が16.3%です。

今後、市は地域公共交通会議にはかり、方針を策定し、国の認可を得る予定です。

## デマンド型交通<sup>\*</sup>など市民の利便性の向上を

市民が望むのは、「現状と同程度の負担で運行の効率化等やれることに取り組み、可能な限り公共交通の維持に努めるべき」が39.9%と最も多く、次に「自家用車を運転できない高齢者が増えるので、利用者負担や財政負担が増加しても現状の公共交通サービス水準を拡充させていくべき」が29.2%です。

そのためには「行きたい場所を通る路線の設定」(33.2%)「市内全域における鉄道、路線バス、コミュニティバス等の乗り継ぎのしやすさ」(28.5%)や「増便や運行時間帯の拡大」(24.7%)を望んでいます。

SDGsの目標を掲げるならば「誰でも、いつでも、どこへでも自由に出かけられる八千代市」にしなければなりません。

<sup>\*</sup>デマンド型交通とは、利用者の事前予約に応じる形で運行経路や運行スケジュールをそれに合わせて運行する地域公共交通のこと。